

ベトナム戦争枯葉剤爆弾被害者支援・チャリティーコンサート 2026

ベトナムアンサンブル
チャリティーコンサート

VIET NAM ENSEMBLE CHARITY CONCERT 2026

国立ボンセン歌舞団等選抜グループ
54の民族が織りなす 1000年のハーモニー

特別ゲスト・岡田 修（津軽三味線演奏家）
山形県酒田市出身。（1957年生まれ）
18歳の時に東京の就職先で津軽三味線に出会い、稽古を始める。その後、津軽の山田千里師匠の音に出会い、山田師匠に師事する為に津軽へ旅立つ。23歳。5年間津軽で修行し、最後の年に津軽三味線全国大会のチャンピオンになる。
その後は東京を基盤にしつつ、海外や日本各地で演奏活動を展開する。
津軽の匂いを大事にしつつ、オリジナル曲の創作も手掛ける。
2014年より5年間、津軽三味線世界大会審査委員を務める。
今年（2026年）は津軽三味線と出会って51年、演奏家として活動を始めて41年となる。



■企画招聘：IFCC 国際友好文化センター

■企画共同：NPO 日本ベトナム平和友好連絡会議（JVPF） ■後援：駐日ベトナム大使館（予）、ベトナム日本友好協会

ベトナムアンサンブルチャリティーコンサート2026 東松山公演

東松山市民文化センターホール

2026年 **10月18日(日)** 開場 13:00
開演 13:30

主催：ベトナムアンサンブルチャリティーコンサート2026 東松山公演実行委員会

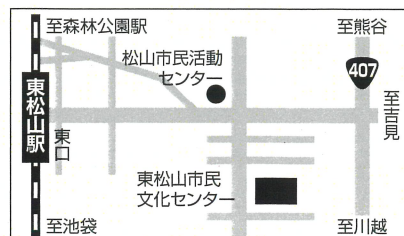
【お問い合わせ】山下法律事務所 TEL 0493-22-5957

後援：東松山市、比企地区市町村教育委員会連合会、東松山むさしロータリークラブ

協賛：埼玉中央農業協同組合、埼玉弁護士会熊谷支部、(財)原爆の図丸木美術館、

日本ベトナム平和友好埼玉連絡会

【コンサート協力券】2,500円 高校生以下1,000円



TEL 0493-24-2011

ベトナム“枯葉剤爆弾被害者の叫び「わたしの体の中では戦争が終わっていない」

ベトナムアンサンブルチャリティーパフォーマンス

パフォーマンス

開始以来31年目を迎える公演となります。今回協力していただく“民族アンサンブル”はホーチミン市在の国立ボンセン歌舞団演奏部長グエン・アン・タンによって編成されたグループです。国家優秀芸術家称号をもつグエン・アン・タンをはじめ海外公演の経験豊富なメンバーで、JVPFの活動に賛同いただき来日公演が実現します。

人口の90パーセントを占めるキン族（ベト族）をはじめ53もの少数民族で構成されるベトナムの様々な要素が重なり“ベトナムの色彩と日越友情の空間”を醸し出します。

今回のパフォーマンスでは、二人の国家芸術家称号の奏者が参加します。選抜グループのリーダーとして長年協力いただいていたダンダーイ奏者グエン・アン・タン、ベトナム仕様・竹笛奏者ディン・ハ・リンが秀逸の演奏を披露します。

枯葉剤爆弾被害

1960年代にアメリカ軍によって使用された化学兵器である“枯れ葉剤”による子ども達への影響は今も継続しており、各国のボランティアグループも援助の手を差し伸べています。特に両親が被災した子どもへの後遺障害、遺伝子傷害など子孫への影響は予測不可能なほどです。日本でも知られている“ベトちゃん、ドクちゃん”の事例はほんの氷山の一角です。1961年から1970年代始めのベトナム戦争中、猛毒で発癌性の強いダイオキシンが大量に含まれる“枯れ葉剤”の投下された量は7500万リットル、その影響範囲は南ベトナムの4分の1に当たる2万3360平方キロといわれています。1961年の枯葉剤爆弾投下から64年以上を経ましたが、今もなお体内に宿り、永続した人間破壊兵器と化しベトナム国民を襲い続けています。

被害者たちの“わたしの体の中では戦争が終わっていない”という叫びは続いています。

支援

1996年の開始以来、チャリティーコンサートで作られた基金はベトナム各地の被害者に届けられてきました。1回目の収益金60万円はホアビン村（ハノイにあるリハビリ施設）に届けられ、同所では、1998年からリハビリ通所のための奨学金を実施。1997年はタイビン省の子供救護委員会に約170万円を寄付。1998年はベトナム南部のタイニン省（ホーチミン・ルート上で枯れ葉剤投下の激しかった場所）の病院へ支援総額1,449,600円。1999年度はベトナム中部のクアンチ省などへ支援



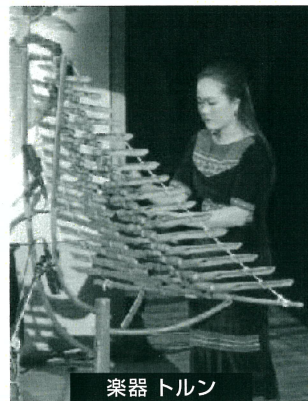
【左写真・調査慰問活動】

・カオバン省で2軒の枯葉剤被害者の調査慰問を実施。(2026/1/29)
・写真(左)はMr. Be Ich Than。ホップザン7居住集落、チュックパン区ハザン省。中部戦線のクアンチで4年間従軍。枯葉剤被害者認定。障害率35%。1976年にカオバンに戻り農業、5歳年下の妻と結婚、子どもを4人(女3人、男1人)。次女には障害があるが枯葉剤爆弾被害者認定は受けていない。妻は少し前に死別、子たちは結婚して独立、自分は一人で暮らし。

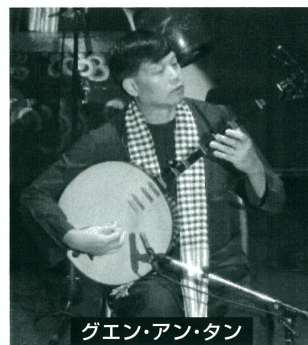
し、累計総額は4,80万円になります。2001年より、タイビン省でリハビリ医療施設建設プロジェクトがスタートし、2004年2月に開所。プロジェクトは総額15万米ドル（日本側80,000ドル、ベトナム側70,000ドル相当）で、日本側はコンサート収益金で約1,100万円をつくりました。その後、リハビリ後の障害者の自立を目指して日本国「草の根無償協力」を要請し「障害者職業訓練センター建設」（1,000万円）開所。

2012年から今まで、15の省及び市で調査・慰問を実施。2025年は、北部カオバン省で被害者貧困家庭支援として『仁愛の家』寄贈を実施。

また埼玉JVPFはクアンナム省、広島HVPFはクアンチ省で夫々支援活動を実施してきています。



楽器 トルン



グエン・アン・タン

2026年パフォーマンス・プログラム(予)

パーカッションと一弦琴演奏／
南部地方の民謡♪“夏の夜の子守唄”
ソロ／ダンキン演奏♪乱れ咲く蓮の華
舞踊／チ南部アンザンの山岳信仰の踊り
ソロ／クロンブット演奏♪春の訪れ
ソロ／歌♪コニアの木陰で
ソロ／トルン演奏♪赤とんぼ
舞踊／中部高原地帯の少数民族の踊り♪
BAZANの息吹き

ソロ／ダンバウ（一弦琴）演奏♪ベトナム賛歌
ソロ／ベトナム仕様 太鼓演奏♪蹄の音が戦場に響く
歌舞／Hau Dong様式による祈り♪Co Doi Thuong Ngan
ソロ／ベトナム仕様 竹笛演奏♪ボンコレ鳥
竹笛とダンバウ（一弦琴）演奏♪心に描いてみて
歌と演奏♪ ぼうやお眠り
舞踊／王宮の踊り♪夜の蓮
全体／ダンダ（石琴）とトルン演奏♪祖国のシンフォニー
他、（全17曲）

企画招聘：IFCC国際友好文化センター

東京都新宿区山吹町316 番地 菊地ハイツ101

TEL 03-3268-4387

FAX 03-3268-6079

企画共同：NPO法人日本ベトナム平和友好連絡会議

□日越友好プロジェクト基金へのご協力は以下の口座まで
お願いします。

中央労働金庫本店（普）1145118

口座名：IFCC国際友好文化センター

※ご協力いただく場合、ご氏名、ご住所をお知らせ下さい。
後日、資料等ご案内いたします。